

---

# Tales of Vesperia ~another story 新月の子~

セル・ホークセス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Tales of Vesperia } another story  
or y 新月の子 }

### 【Nコード】

N4191M

### 【作者名】

セル・ホークセス

### 【あらすじ】

ある一人の子供がヴェスペリアの世界を救う物語

## プロローグ（前書き）

完全に駄作ですがよろしくお願いします

## プロローグ

目覚めよ・・・我らの血を受け継ぐ者よ

どこから声が聞こえる

ここはどこだ？

何もない暗い空間

俺は誰なんだ？

何もない虚空へと投げかける

お前は我らの血を受け継ぐ者、新月の子  
誇り高い一族の末裔だ

また何もないのに声が聞こえる

新月の子？一体それは何だ？

空間へと問う

今はまだ知る必要はない  
しかし時がくれば我ら新月の子の使命を思い出すだろう  
そのときまで深き眠りを

Tales of Vesperia } another story  
ry 新月の子 }

アレクセイは遺跡の調査をしていた

ザウデ復活のため各地の関連遺跡を徹底的に調査していたのだ  
そしてアレクセイはある遺跡で未知の魔導機を発掘した

「こ、これは！！」

それはは文献に書かれていたある魔導機に酷似していた  
人を仮死状態にし生かし続けるための魔導機である

アレクセイはすぐに解析に入りそして鍵をあげた  
中に入っていたのはまだ幼児の赤ん坊だった

「ふはははは！これはすごい！

こいつは古代ゲライオス文明の人間どんな力を持っているのか  
楽しみだ。おい、こいつをアスピオに運べしっかり調べておけ」

アレクセイは気分が優れていた

しかしこの男の子が世界を救うなどまだこのときには  
誰も知る由はなかった

## ブログ（後書き）

不定期で更新させていただきます

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4191m/>

---

Tales of Vesperia ~another story 新月の子~

2010年10月10日21時44分発行